

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月14日

事業ID:2023018512

事業名:ダイバーと子どもによる
海ごみ回収の取り組み
(海と日本2023)

団体名:特定非営利活動法人海未来

代表者名:手島 裕之 印

TEL:06-6155-6373

事業完了日:2024年3月31日



■契約時

事業費総額	:	3,320,000 円
自己負担額	:	670,000 円
助成金額	:	2,650,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	3,386,627 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	736,627 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	2,650,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

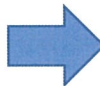
■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.水中清掃活動事業
(1)時期:2023年4月~2023年12月(計10回)
(2)場所:大阪府、京都府、滋賀県、和歌山県、兵庫県、福井県の各海域
(3)参加者:250名(ダイバー 150名 一般100名)
(4)内容:ボランティアでダイバーを広く募り、ダイバーしかできない投棄された海中ごみの回収と子供たちを含む一般のかたに作業に参加

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.水中清掃活動事業
(1)時期:2023年4月~2023年12月(計10回)
(2)場所:大阪府、京都府、和歌山県、兵庫県、福井県の各海域
(3)参加者:220名(ダイバー 160名 一般60名)
(4)内容:ボランティアでダイバーを広く募り、ダイバーしかできない投棄された海中ごみの回収と子供たちを含む一般のかたに作業に参加



(3)成功したこととその要因

海や湖に投棄されたプラスチックごみや生活ごみの水中清掃活動に参加するダイバーが予想を上回り、特に初めて参加される方が増えた。海未来の活動が浸透してきたこと。また活動に参加しやすいよう募集案内を早めに行ったり、内容を細かく記載することが結果につながった。

(4)失敗したこととその要因

子どもたちを含む一般参加者が予想を下回った。陸上での参加は他の陸上での清掃活動団体とコラボすることが増えたこと、開催場所が大阪以外の場合集めにくいというのが予想できなかった

(5)事業内容詳細

別紙事業報告書のとおり

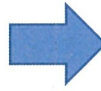
■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.サンゴ増殖再生及び調査・研究事業
(1)時期:2023年4月~2023年12月(計6回)
(2)場所:和歌山県串本
(3)参加者:100名(ダイバー60名 一般30名)
(4)内容:ボランティアダイバーを広く募り、破片サンゴの設置(微弱電流によるサンゴ再生促進)

(2)事業内容の実施(完了)状況

2.サンゴ増殖再生及び調査・研究事業
(1)時期:2023年4月~2023年12月(計6回)
(2)場所:和歌山県串本
(3)参加者:114名(ダイバー88名 一般26名)
(4)内容:ボランティアダイバーを広く募り、破片サンゴの設置(微弱電流によるサンゴ再生促進)



(3)成功したこととその要因

事業実施により、減少傾向にあるサンゴの再生と自然保護の大切さを広めることができた。ダイバー参加は予定を上回り、一般参加もほぼ目標に達したことにより活動の意味を幅広く告知できた

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

別紙事業報告書のとおり

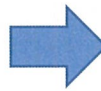
■事業内容3

(1)契約時の事業内容

環境保全活動の普及啓発事業
(1)時期:2023年5月~2023年7月(計3回)
(2)場所:大阪府、和歌山県、福井県
(3)参加者:10,400名
(4)内容:活動内容の展示説明を通じて、ダイバーだけでなく子供たちを含む一般の方に積極的に参加してもらえるようにする

(2)事業内容の実施(完了)状況

3.環境保全活動の普及啓発事業
(1)時期:2023年5月~2023年12月(計3回)
(2)場所:大阪府、福井県
(3)参加者:8,575名
(4)内容:活動内容の展示説明を通じて、ダイバーだけでなく子供たちを含む一般の方に積極的に参加してもらえるようにする。水中環境保護セミナーを2回開催。



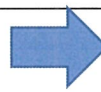
(3)成功したこととその要因

活動に参加するかたが増えたこと。活動に理解いただける会員が増えたこと。イベント会場に唯一参加している水中環境保護活動団体であること。またこういった無料セミナーを開催している団体が少なかったことがより参加者の関心を得る結果になった。

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

別紙事業報告書のとおり



2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

・参加者数特に一般参加目標を達成する
・海、湖川地域の市町村のごみ収集作業目標数:10カ所、収集ごみ重量目標:2,500kg
・サンゴ再生促進(経過観察含む) 作業設置個所目標数:6カ所 設置サンゴ個数:80個

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	103	文字数チェック	OK
・参加者数特に一般参加目標を達成する ・海、湖川地域の市町村のごみ収集作業目標数:10カ所、収集ごみ重量目標:915kg ・サンゴ再生促進(経過観察含む) 作業設置個所目標数:6カ所 設置サンゴ個数:76個			

3.事業実施によって得られた成果

安定的に活動を続けることで認知度が高まり、ボランティアダイバー登録数が助成初年度(2年前)78名から221名に増えた。2年後までにダイバー登録者数300名、年間活動参加者のべ200名を達成したい。また、ボランティアダイバーによる水中清掃活動を行う団体として認知度が深まってことで活動場所が拡がり、他の環境保護活動団体と連携して水中と陸上清掃の同時開催などが計画できるようになった。2年後までには近畿2府4県以外の他の地域の活動を始める。また他の環境保護団体との連携を具体化させる。5年後には近畿各県他西日本を中心に支部を設置。全国的な活動の輪を形成する。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

他の活動団体との連携や一般のかたの参加者を増やすための活動を増やすための人数が足りない。活動の輪が近畿二府四県以外の活動開催要望に対して活動資金が足りない。そのため当面は活動に理解のあるかたにボランティアで事業実施メンバーに加わってもらい、最終的に事業に従事する正雇用メンバーを増やす。またより多くの会員確保や企業、団体からの寄附や助成などで活動資金を増やして継続的に活動できる団体に育てる。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

- ・参加者名簿を記載し保存する
- ・収集ゴミを分別し、はかりによる計測で収集ゴミの種類と重量を記録しHPで公開する
- ・サンゴ設置数および成長過程を計測しHPで公開する
- ・NPO法人 海未来の公式ホームページに、活動報告(作業内容、作業中及び収集物の写真、参加者数、ごみ収集実績及びサンゴ設置実績等)を掲載する。

公式HP:<https://umimirai.or.jp>

(2)事業完了時の成果物名称

- ・NPO法人 海未来の公式ホームページに、活動報告(作業内容、作業中及び収集物の写真、参加者数、ごみ収集実績及びサンゴ設置実績等)を掲載しました。

活動内容、予定、結果を記載した小冊子:
1,500冊
ポスター:10枚



(3)未作成となった要因

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://umimirai.or.jp/category/report/>